

あけまして おめでとうございます。

新しい年を迎え、1 週間余りが過ぎましたが、元日から震災、事故と悲しい出来事が続きました。震災では現在も石川県の珠洲市では市民の半数以上の方が避難生活を余儀なくされています。また、皆さんの中にも震災に見舞われた方と縁のある人もいるかもしれません。

今回、関西地方でも震度 4 を計測していますし、南海トラフの危険性は知ってのとおりだと思います。同規模の地震がいつ関西に起きるかわかりません。今回の震災はそのことを真剣に考える機会にしてほしいと思います。

さて、今日から始まる 3 学期は期間が短く、3 年生の登校は今日を含め 18 日と卒業式の予行と本番、1・2 年生も入学者選抜により、3 月はほぼ自宅学習となります。そこでこの 3 学期は 4 月から始まる新年度に向けた準備も考えて過ごしてほしいと思います。

そこで、今日は「飛べなくなるノミ」という話をしたいと思います。

ノミは自分の体長の 100 倍から 150 倍の跳躍力があるといわれています。

ノミの体長は 2mm～4mm ぐらいですので少なくとも 30cm 以上のジャンプをする能力があるのです。そのノミを例えば高さ 15cm ぐらいの瓶にいれて蓋をします。するとノミはこれまでどおり飛び跳ねると蓋にぶつかることを学習します。そしてそれを繰り返しているうちに蓋をあけて蓋がなくなってもノミは瓶の高さ以上には飛ばず、瓶の外にも出ることができなくなるそうです。また、瓶の外へ出しても状況はかわりません。これは、ノミが自分の限界を作ってしまったからだと思われます。

では、ここで問題です。この飛べなくなったノミにあることをすると、元のようにジャンプできるようになるのですが、それはなんだと思いますか？

答えは、普通に飛んでいるノミをこの集団の中にいれてやるとまた元のように飛べるようになります。つまり、本来の能力でジャンプできる仲間を見せることで、自分の力を思い出し、再び飛べるようになるそうです。私たちも、過去の経験や思い込みから、知らず知らずのうちに自分自身の能力を制限していないでしょうか。そう感じた時は周りにいる頑張っている人を見つけ、自分を奮い立たせ本来の力を取り戻してください。

それでは、みなさんがこの一年でのいろんな経験を通して、視野・見聞を広めてくれることを願っています。

令和 6 年 1 月 9 日
校長 服部 有晋